



日口交流

発行: 特定非営利活動法人日口交流協会

E-mail: nichiro@nichiro.org

Home Page: <http://www.nichiro.org>

〒106-0041 東京都港区麻布台3-4-14

麻布台マンション401号

Tel: 03 (5563) 0626 Fax: 03 (5563) 0752



島山堅蔵事務局長講演会

岡崎 好典

2023年3月25日土曜日、当協会第23回（通算第59回）通常総会の閉会后、引き続き島山堅蔵事務局長兼常任理事による講演会がありましたので、主な内容をご報告いたします。テーマは「ロシアと私 50年」でした。まず、ご自身の自己紹介があり、ロシア語の勉強を始められた契機についてお話がありました。島山さんがロシア語を始められたのは、お父様がソ連の抑留者で、小さい頃からお父様が話された体験談からロシア語に触れる機会があったからで、高校1年生からNHKのラジオ放送を聞くなどしてロシア語の勉強をしてきたそうです。大学はロシア語学科に進まれ、卒業後は得意のロシア語を活かして商社に就職され22年間勤務したのち、日立グループで約20年間勤務されました。その間、3回計16年間モスクワ市とトベリ市に駐在されたそうです。また、日本のピストンリングの工場では1年半くらい準備に苦労しながら通訳をしているうちに、沸々とロシア語が湧いて出てくるような経験をされたそうです。

次に、ソ連邦時代の体験談のお話がありました。ソ連時代は、契約の相手がエンドユーザーではなく、国家機関である貿易公団が窓口になっていて、支払いリスクはなかったものの、実際に作業を行うエンドユーザーと打ち合わせをすることができず、非常にやりにくかった。現在のロシアでは、エンドユーザーと直接契約ができるようになった一方で、与信を取ることが難しくなった。それは、一人のオーナーがいくつもの似たような会社を持っていて、ある会社の業績が芳しくなくなったときは、その資産を他の会社に移して意図的にその会社を潰すことがあるため、そのような会社に出資や取引があったら、非常に大きな損害を被ってしまうからだそうです。

次にロシア人と長い間一緒に仕事をしてきた経験から、ロシア

人との仕事の仕方についてのお話がありました。まず、ロシア人の部下には、「良い情報」よりも「悪い情報」を先に報告させるように指示してきたそうです。「悪い情報」を聞けば、その時のすべての状況がわかるからです。また、ロシア人の部下に事柄の進捗を確認するよう依頼した場合、ロシア人は確認して状況に変わりがなかったときは、新しい情報がないとして、報告する必要がないと考えるのだそうです。これに対し「状況が変わりがなかった」ということも新しい情報なのだから、報告するように指示してきたそうです。さらに、ロシア人に状況の説明を求めると、彼らの期待や希望をあたかも実際の状況のように話してくることから、ありのままの実態を説明するよう指示してきたそうです。なお、島山さんは、先輩から「ロシアビジネス3つ“あ”の法則」を教わったそうです。「ロシアンタイム」というゆったりした時間の流れがあるので、「あせってはならない」、ロシアビジネスは、不確定要素が多いので、事を進めるうえで100%「あてにしているわけではない」、ロシアビジネスは、このように難しい市場であるが、希望を持ち続ければ、最後に女神が微笑んでくれることもあるので、「あきらめてはならない」の3つの“あ”が大事だそうで、島山さんはこれを教訓としたおかげで、185億円の契約を成立させたことがあるそうです。

島山さんからは、このほかにも、ロシアの水素エネルギー政策、鉄道、プーチン大統領の軌跡と側近、米国や中国との関係、ロシア語の特徴、ロシア経済、軍事費等についてのお話もありましたが、誌面の都合により省略させていただきます。

最後に、島山さんがロシアに駐在していた時の思い出の写真を4枚紹介していただきました。どの写真も島山さんがロシア人のスタッフから信頼され、とても仲の良い職場であることをうかがわせるもので、島山さんのお人柄の良さが感じられました。

以上、島山さんにロシア語の勉強をはじめから50年、ロシア人とともに過ごしてきた42年を振り返っていただきました。お父様の抑留体験から始められたロシア語の勉強をマスターされ、仕事に活かして、42年もロシアで、または、ロシア人とビジネスを展開してきた島山さんは、まさにロシアビジネスに精通された方だと思いました。また、島山さんのロシアに対する思いや、ロシア人を愛する気持ちが伝わってくる、心温まる貴重な講演会でした。
(常任理事)